

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公開番号】特開2014-50945(P2014-50945A)

【公開日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-015

【出願番号】特願2013-47441(P2013-47441)

【国際特許分類】

B 2 3 H 7/08 (2006.01)

【F I】

B 2 3 H 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月4日(2015.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記コアが銅 6 0 重量 % 以上 7 0 重量 % 以下で亜鉛 3 0 重量 % 以上 4 0 重量 % 以下の重量比の黄銅で成る請求項 1 に記載のワイヤ電極。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

加熱炉 3 の中で素線 2 を加熱する拡散時間は、電気亜鉛鍍金による厚さ 5 μ m 以上 2 0 μ m 以下の亜鉛の被覆層が亜鉛濃度 4 0 重量 % 以上、確実には 4 5 重量 % 以上 4 8 重量 % 以下の亜鉛リッチ黄銅になるまでの時間が目安である。例えば、加熱炉 3 の全長が約 8 m であるとき、所要の適切な拡散時間に合わせると、素線 2 を直線走行させる走行速度は、具体的に、2 . 8 m / m i n 以上 3 . 2 m / m i n 以下が適当である。加熱炉 3 の中は、4 5 0 以上 6 5 0 以下の一定温度に保持され、望ましくは、5 4 0 以上 6 0 0 _ 以下の範囲の一定温度に保たれる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

